

第15回 100年史誌部会 議事録

日時：2007年5月20日(水) 16時～

場所：第1応接室

出席者：横山部会長、小室編集局員、大町、小山、平田、神戸、高畑、片山各委員

欠席者：栗野、松田、金子、小池、赤平、山崎各委員 斎藤編集補助局員

【配付資料】

[資料 15-1] 学制変遷に対応した年表整理

[資料 15-2] 編纂日程

[資料 15-3] 収集資料

[参考資料] 資料目録 重要文化財旧米沢高等工業学校本館 記念展示館

[資料 15-4] 「遠野市市制施行50周年記念誌」編集企画業務

I 報告事項

1. 小室編集局員から、史編纂室を守衛室から旧教授室へ6月5日に移動する旨報告があった。ファクシミリが使えるようになる。ファクシミリの番号は26-3459。また、資料の整理のため、研究室に余分なキャビネットがあった場合、提供頂きたい旨、依頼がなされた。

II 協議事項

1. 100年史
 - 1) 学制変遷に対応した年表整理
 - ・ 学制の変遷に対応した本学ならびに米沢の対応について調査した。学科史やユニット史の執筆の参考にもなるであろうとのコメントが出された。
 - 2) 編纂日程
 - ・ 今まで100年史の資料の作成や内容の整理を進めてきて、様々な問題に対して学校の機関がどう対応したか、いままでの50年史や65年史、80年史などの記録では見えてこないという問題がある。
 - ・ いままでの作業は二次資料に基づいて行なってきた。これからは一次資料による検証や説明する必要があるだろう。しかし、100年分の教授会資料を調査するとして1200通の資料に目を通す必要がある。適宜取捨選択することが必要になると思う。
 - ・ そのためにも、何の資料がどこにあるかをはっきりさせる必要がある。
 - 3) 資料の収集について
 - ・ 2007年5月に入手した資料ならびに作成した資料について説明があった。
 - ・ 資料の収集について各部会員に協力をお願いしたい。[資料15-2] ② 編纂日程の件の4. 資料情報の共有化(Step 1)に関して、資料リストの作成をお願いしたい旨、依頼がなされた。
 - ・ 記入リストのエクセルフォーマットを各部会員に配付して頂くよう要望が出された。
 - 4) 各学科、専攻ユニット史について
 - ・ 機械系
 - ① 学科会議の要項を入手した。
 - ② 1983年からの卒業研究要旨集を入手した。
 - ③ 石田先生の著書が参考になることがわかった。
 - ・ 情報系
 - ① オーム会誌は全部そろえるのは難しい。
 - ② 会議議事録を個人で所有している人を探す。

- ・ 電気系
 - ① 工業会誌など 2 次資料で拾い上げて書く。
 - ② 電気電子・情報・生体システムと協力する。
- ・ 化学系
 - ① 親和会誌はバックナンバーが全てそろっていると思うので調べる。
 - ② 次回の学科会議に議題として提出し、教職員に協力を求める。
- ・ 生体センシング
 - ① 外部評価資料があり、これにより 5 年間の流れがわかる。
 - ② 文部科学省に持って行く資料を入手した。
 - ③ 会議資料はこれから調査し、その結果は次回に報告したい。
 - ④ 主として和泉先生に執筆して頂くことで内諾を得ている。神戸委員が後期から海外出張が入るので、専攻の歴史を今年の夏休み迄に一通り書いて頂くことにしている。
- ・ 事務ユニット
 - ① 去年、中庭のプレハブに資料を段ボールに詰めて保存したが、なにがどこにあるか、わからない状態である。現在新しい別のプレハブをつくり、資料を移動する計画がある。その際にある程度はわかるかもしれない。しかし、片山ひとりではその作業は無理であるため、各係にお願いする形になるだろう。
 - ② 小室局員から書類の保存期限に関する質問があり、教授会資料は全て残していること、その他の資料は数年である旨、回答があった。
 - ③ 小室局員から大学の運営費を知る資料があるかどうかの質問があり、教授会資料である程度はわかる、独法化以前に関して、人件費については学部ではわからない、という回答があった。
 - ④ 資料の整理に関して、デジカメでおおよそ記録 (INDEX) をとっていただければ、それでもいい、とのコメントがあった。
 - ⑤ また、組織の組み方が変わって、どこの部署になにがあるかもわからない部分もあるとのことで、計画を立てて作業を進めていただく旨、コメントがあった。

2. 100 年誌

- 1) [資料 15-4] 『「遠野市市制施行 50 周年記念誌」編集企画業務』の説明がなされた。本資料は、100 年誌にかかる経費の目安を知る必要から調査した結果である。
 - ・ 部会長から、Journal に関しては 600 万円程度を想定、実行委員会にも報告していたので、それほどかけ離れてはいない印象である、とのコメントを頂いた。

3. その他

- 1) 齋藤ひろみさんに 100 年史誌部会の web site を構築してもらい、ニュースを出せるようにしたい旨、コメントが出された。

III 今後の予定

1. 次回の会議は 6 月 27 日 (水) の 16:00 から、第一応接室にて開催し、各委員からはそれぞれの学科史・部局史について御報告願う。